

# 全国農業

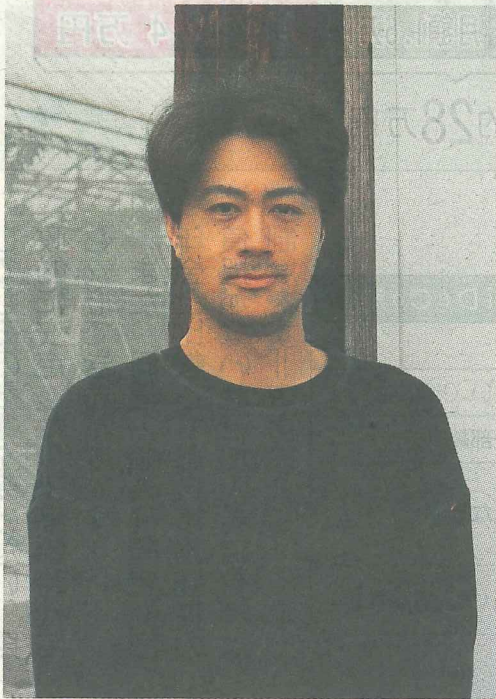


# 新聞

## 父の勧めで農業者年金に加入

### 同世代にも広く勧めたい制度

山梨 菊島 崇雄さん  
甲州市



経営状況に応じて保険料変更を検討する菊島さん

【山梨】甲州市でサクランボ・スモモを栽培する観光果樹園「童夢」の園主、菊島崇雄さん(37)。大学卒業後、東京で約10年勤務した後、県果樹試験

場で1年間の研修を経て2020年に観光果樹園の2代目として就農した。就農5年目の現在は日々の農作業に加え、販路のさらなる拡大や観光客数を増やすことにも奮闘している。

そんな崇雄さんが農業者年金に加入したのが昨年12月。父の嘉郎さん(70)から勧められたことがきっかけだった。嘉郎さんは「若いうちはイメージしにくいと思うが、将来について考えるきっかけになってよかった」とその時を振り返る。

崇雄さん自身それまでは老後についてまだ先のことと真剣に考えていなかったが、嘉郎さんからの勧めもあり制度について調べるうちに将来受け取る年金を自分で積み立てていくため少子高齢化時代に強いこと、保険料額を自由に設定できること、支払った保険料が全額控除になり節税効果が期待できることなど農業者年金制度について理解を深めていった。今後は経営状況に応じて保険料を増額するか検討中だという。

自身が農業者年金制度のことをあまり知らなかった経験から「農家の将来を考えると良い制度なので、同世代に農年のメリットを広めていきたい」と笑顔で話した。

2024年(令和6年)

10月増刊号

発行所 全国農業会議所